

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ローションモイストチュアライザー プロケア
製品コード	111B223ND001JC250G
整理番号	113B223ND000
供給者の会社名称	日油株式会社
住所	660-0095 兵庫県尼崎市大浜町1-56
担当部門	尼崎工場 品質保証部
電話番号	06-6419-7483
FAX番号	06-6416-8135
電子メールアドレス	g_amg_kmsds@nof.co.jp
緊急連絡電話番号	06-6419-7483
推奨用途及び使用上の制限	化粧品

2. 危険有害性の要約

本品は化粧品のためGHS分類の対象外です。

危険有害性情報

有害性：通常の手扱いは有害性は低いと考えられる。

環境影響：知見なし

物理的および化学的危険性：通常の手扱いは危険性は低い。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
水、保湿剤、油剤等の混合物	非公開	非公開	対象外	非公開	非公開

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） エタノール（法令指定番号：61）（4質量%）

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水及び石鹸で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
眼に入った場合	直ちに清浄な流水で充分洗眼した後、医師の処置を受ける。コンタクトレンズは可能であれば取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
応急措置をする者の保護	救護者はゴーグル、ゴム手袋等の適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	消火する時は、粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水等の消火剤を用いて消火する。
使ってはならない消火剤	棒状の水

特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
特有の消火方法	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のため放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
消火を行う者の保護	消火作業では、適切な保護具（手袋、保護眼鏡、防毒マスク等）を着用する。燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には皮膚に直接触れないように必ず保護具（手袋、保護眼鏡、防毒マスクまたは防塵マスク等）を着用する。風上から作業をし、漏出した場所の周囲には、関係者以外の人の立ち入りを禁止する。必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	流出したものをすくい取り、または掃き集めてドラム等に回収する。
二次災害の防止策	床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。回収物の収納容器は、内容物の処分を行うまで密封しておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。容器を粗暴に取扱わない。火気を近づけないようにする。
安全取扱注意事項	保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	保管場所の床は製品が浸透しない構造、取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
安全な保管条件	通気のよい場所で容器を密閉して保管する。
安全な容器包装材料	製品使用容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
エタノール			TWA -, STEL 1000 ppm

設備対策	蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	通常取扱いでは特に必要ない。
手の保護具	不浸透性（耐薬品、耐油、耐溶剤）保護手袋
眼の保護具	側板付き保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状态	液体
形状	乳化状液体
色	白色
臭い	わずかに特異臭（無香料）
臭いのしきい（閾）値	データなし
pH	5.0~6.5（原液、25℃）

融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	69°C (セタ密閉式)
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
燃焼又は爆発範囲	
下限	データなし
上限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(密度)	比重: 0.985~1.015 (25°C/25°C)
溶解度	水に対する溶解性: 水には任意に相溶する(一部成分は不溶/分散)
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし
動粘性率	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	特になし
化学的安定性	通常の保管や一般的な使用条件では安定。
危険有害反応可能性	特になし
避けるべき条件	特になし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	特になし
その他	自己反応性: 特になし

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚腐食性: 該当しない。 皮膚刺激性: ヒトパッチテスト: いずれも陰性。24h閉鎖貼付(原液)、34名。 眼を刺激するかもしれない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
エタノールとして	
急性毒性(経口)	LD50(ラット): 7,060mg/kg;ET1) LD50(マウス): 3,450mg/kg;ET1) LD50(モルモット): 5,560mg/kg;ET1) LD50(ウサギ): 6,300mg/kg;ET1)
急性毒性(吸入: 蒸気)	LC50(ラット): 20,000ppm/10h(31,600ppm/4h);ET1) LC50(マウス): 39,000mg/m ³ /4h;ET1)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚刺激性: ドレイズ法: ウサギ, 20mg/24h, Moderate;ET1) American guidelinesに従った試験により、刺激性

	でない。;ET2)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレイズ法：ウサギ, 500mg, Severe;ET1) ・ヒトで角膜上皮の傷害、結膜充血は1、2日間で回復する。;ET3) ・ウサギを用いたドレイズ試験 (OECD TG 405) で中程度の刺激性 (Moderate irritating)、適用後1～3日目に角膜混濁、虹彩炎、結膜発赤、結膜浮腫を認める。MMAS (AOIに相当) = 24.0かつ7日以内に症状がほぼ回復する。;ET4)ET5)ET6)
皮膚感作性	<ul style="list-style-type: none"> ・陰性 (50%水溶液) ;ET15) ・動物試験で有意の皮膚感作性は見られない。;ET2)ET3)ET8)
生殖細胞変異原性	ラット及びマウスにおける優性致死の報告及びマウス生殖細胞における異数性誘発の報告がある。;ET9)ET10)
発がん性	<p>IARC : 1 : 人に対して発がん性を示す (アルコール性飲料中のエタノール)</p> <p>NTP : リストには記載されていない</p> <p>ACGIH : A3 : 動物に対して発がん性が確認された物質であるが、人への関連性は不明 (エタノール)</p> <p>日本産業衛生学会 : リストには記載されていない</p>
生殖毒性	アルコールの習慣的な大量摂取によりヒト胎児に対する奇形その他の悪影響が多数報告されている (生殖能又は胎児への悪影響の恐れ。) ;ET2)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトでエタノールの経口摂取により中枢神経系に影響を与え、頭痛、疲労、集中力を低下させる。;ET11) ・急性中毒の場合は死に至ることがある。;ET2) ・ヒトで5,000ppmの吸入により気道刺激性、昏迷、病的睡眠を起こす。;ET3)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトでエタノールの長期大量摂取によりほとんど全ての器官に障害を起こすが、最も悪影響を与える標的臓器は肝臓である。障害は脂肪変性に始まり、壊死と線維化を経て肝硬変に至る。;ET2) ・アルコール摂取により重度の身体的依存症となった患者は、痙攣等の禁断症状に加え、しばしば反射亢進が顕著となる等の症状が報告されている。;ET12)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔内：LD50 (ラット) : 3,600mg/kg ;ET1) ・腹腔内：LD50 (マウス) : 528mg/kg ;ET1) ・腹腔内：LD50 (モルモット) : 3,414mg/kg ;ET1) ・腹腔内：LD50 (ウサギ) : 963mg/kg ;ET1) ・静脈内注射：LD50 (ラット) : 1,440mg/kg ;ET1) ・静脈内注射：LD50 (マウス) : 1,973mg/kg ;ET1) ・静脈内注射：LD50 (モルモット) : 5,560mg/kg ;ET1) ・静脈内注射：LD50 (ウサギ) : 5,560mg/kg ;ET1)

12. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性)	データなし
水生環境有害性 (長期間)	データなし
オゾン層への有害性	データなし
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1) 食品添加物公定書解説書 (廣川書店) 2) 原料メーカーSDS 3) REGISTRY OF TOXIC EFFECTS OF CHEMICAL SUBSTANCES 4) El-Nagdy A. et al. Medicolegal aspects of occupational dermatitis survey in a foam rubber factory, J Egypt Medic Assoc 56(4-5):331-339, 1973(10) 5) Doolittle D., The genotoxic activity of glycerol in vitro test battery, Fd Chem Toxic 26(7):631-635, 1988(39) 6) STN:Material Safety Data Sheets-OHS 7) 既存化学物質安全性点検データ

エタノールとして

生態毒性	ミジンコ EC50(48) : 5,463.9mg/L (オオミジンコ) ;ET13)
------	---

	(急性)
残留性・分解性	活性汚泥濃度：30ppm, 被験物濃度：100ppm, 試験期間：2週間, 分解率：89% (BOD), 分解性が良好と判断される物質。 ;ET14)
生体蓄積性	生体蓄積定数 (BCF) は1 (log Pより算出) と推定され、この値は、水棲生物に対して生体蓄積性がないと判断される。;ET7)
土壤中の移動性	本品のデータはないが物性 (水に可溶) よりKOC (土壌吸着係数) の値は低いと推定され、土壌環境における移動性は高いと推定される。 ;ET7)
その他	ET1)REGISTRY OF TOXIC EFFECTS OF CHEMICAL SUBSTANCES ET2)ドイツ学術振興会 (DFG) : " Occupational Toxicants Critical Data Evaluation for MAK Values and Classification of Carcinogens " Vol. 1~20. (DFGOT:1996) ET3)米国産業衛生専門家会議 : ACGIH documentation(2001) ET4)SIDS(2009), DFGOT Vol.12 (1999) ET5)ECETOC TR48 (1998) ET6)ECETOC TR No.48(2) (1998) ET7)STN REGISTRY ET8)EU European Chemicals Bureau (ECB) International Uniform Chemical Information Database (IUCLID 2000) ET9)ドイツ学術振興会 (DFG) : " Occupational Toxicants Critical Data Evaluation for MAK Values and Classification of Carcinogens " Vol. 1~20. (DFGOT vol. 12 (1999) ET10)IARC Monographs Programme on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans (IARC vol. 144, 1988) ET11)WHO/IPCS : 「環境保健クライテリア (EHC)」 EHC 196 (1998) ET12)HSDB : Hazardous Substances Data Bank. HSDB (2003) ET13)European Center of Ecotoxicology and Toxicology of Chemicals (ECETOC TR91:2003) ET14)既存化学物質安全性点検データ ET15)当社外部機関依頼測定値

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)、消防法を遵守し、適正な処理をする様に依頼する。 本品は特別管理産業廃棄物に該当する。
汚染容器及び包装	空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)、及び関係法規・法令を遵守して、適正な処理をするように依頼する。

14. 輸送上の注意

国際規制	ばら積み輸送の対象外
海上規制情報	該当しない
Marine Pollutant	Not applicable

航空規制情報	該当しない
国内規制	ばら積み輸送の対象外
陸上規制	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	非該当

航空規制情報
特別の安全対策

該当しない
輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認し、転倒、落下、
損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

緊急時応急措置指針番号

127

15. 適用法令

消防法
労働安全衛生法

指定可燃物、可燃性液体類
・名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9）エタノール
・名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9）

薬機法

関係法令を遵守のこと

16. その他の情報

連絡先
その他

供給者担当部門までご連絡下さい。
記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険性／有害性に関しては、いかなる保証値をなすものではありません。
また、注意事項は通常的な取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には、用途／用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。